

夏瀬の森

だより

令和元年八月二十五日 第八十四号
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

夏祭・花火大会

皆様のご奉賛の下
盛大に開催させて頂いていただきました



れる花火大会だと聞き、遠方から来
てくださった方が「花火の真下で子
どもたちの笑顔がはじけている。と
話して下さいました。疲れが消えるひ
と言です。今年も草刈り、提灯つり
や交通警備等に汗をかくてくださり
た総代様や、前日の境内大清掃に始
まりジュースの販売に明るく大きな
声で頑張っていました。

さった敬神婦人
会の方々には大
変なご苦労をお
かけしました。
紀州煙火様にも
色々とお配慮い
ただきました。
湯浅警察をはじめ
め少年センター
や学校PTAに関
係の皆さま方に



夏祭り宵宮
奉納花火大会
を本年も七月
十日に開催さ
せていただきました
ことができま
しました。今年も
梅雨の雨が心
配でしたが、お
皆さま方がお
力で無事に本
番を迎えるこ
とができまし
ただけで開催さ
ただけで開催さ
ただけで開催さ

も心から御礼申し上げます。ありが
とうございました。
夏祭神前式も翌日の十一日の朝、
無事に務めさせて頂いた、秋のお
祭りに向けて何事も無事に向かえ
るようにとご祈禱をさせて頂いた
ました。田殿の郷の夏の始まりです。

輪越し大被式

心身の穢れを除き 猛暑に向かう



七月三十一日の
夜、輪越し大被
式を行いました。
早朝から総代様
方が「ちがや」
を刈り、大きな
茅の輪を作り、
正面の大鳥居に
設置していただき
ました。夜には
なり、参道には

提灯が吊られ、境
内ではお抹茶と夏
のお茶菓子で参拝
者をお迎えしまし
た。

夜八時からの大
被式では、宮司が
大被詞を奏上し、
今年も百名を超え
る参拝者が各自、
切麻(きりぬき)で
心身を清めました。

皆様からお預かりした人型(ひとが
た)は薦で包み、全員で茅の輪を8
の字に三度くぐった後に有田川に流
しました。神事の終了後、参拝者の
方々は茅の輪から草を抜き、各自小
さな輪を作って、悪疫や穢れを防ぐ
ために玄関や勝手
口、倉庫や車など
に掛けています。

総代様、敬神婦人
会の方々をはじめ
め、お抹茶の接待
をして下さった茶
道教室の皆さま方
に心より御礼申し
上げます。



